

治水対策について

伊福幸一 議員

串崎新田地区の治水対策について伺います。

大津川流域における浸水被害の軽減を図るため、平成20年度から着手した串崎新田貯留池整備事業は、面積約1万1千140㎡、貯留量約7千700

串崎新田貯留池の整備による効果を伺います。

周辺流域の水路において1時間当たり約30mm相当の降雨への対応が可能となりまし

初富交差点改良事業と周辺の道路整備事業について

宗川洋一 議員

初富交差点改良事業が進まない理由と課題を伺います。

千葉県からは道路区域の変更手続に時間を要している

道路区域の変更について早急に鉄道事業者との協議を調えるように千葉県へ積極的に働きかけ、必要に応じて鉄道事業者との協議に市も加わ

災害時における避難やごみ処理、仮設住宅等の対策について

矢崎悟 議員

今後のマンホールトイレの整備について伺います。

令和3年度までに公共下水道が整備された小中学校6校に60基を設置しました。今後は江戸川左岸流域の公共下

災害応援協定の締結による確保が現実的であると考える今後、具体的な調整を進めます。

会計年度任用職員の働き方改革について

河内一朗 議員

専門職の会計年度任用職員の採用における課題を伺います。

保育士については、応募が少ないことや保育園の求める勤務体制と合わないこと、特別支援学級等介助員は、多

増加していることが挙げられます。

学校図書館司書にはいろいろ

た。また、令和7年9月5日の台風第15号では、旧屋比久クリニク周辺や串崎新田貯留池周辺における床上、床下の浸水被害はありませんでした。このことから、串崎新田地区の浸水被害の軽減に大きな効果があったと考えています。

市道11号線と県道57号の交差点改良事業の今後の予定を伺います。

千葉県警察との協議結果を踏まえ、千葉県と費用負担等の課題を解決し、早期に事業化を図っていきます。

災害廃棄物の想定量と仮置場の確保状況を伺います。

鎌ヶ谷市災害廃棄物処理計画における想定発生量は約18万tで、仮置場候補地は旧クリンセンターの敷地など必要想定面積の約92%を確保し、残りの約8%も関係各所や近隣住民と調整を行い、確保に努めます。

学区制度について

泉川洋二 議員

平成9年に文部省から出された通知の通学区区域制度の弾力的運用についての市の考えを伺います。

市の就学指定校変更許可基準に基づき、指定校以外の学校に通うことも可能で、小中学校に入学する際は学校選択制を導入するなど、弾力的な運用に努めています。

近隣12市のうち8市が市内転居に伴う学区の変更について、卒業までは転居前の学校に就学を可能としています

学校教育の多様化に対応するとともに、児童生徒と保護者の意向に配慮する必要があるため、市内転居の場合に



農業の発展に向けた取組について

山中優宏 議員

農地の確保に当たり、既存農家と新規就農希望者のニーズを把握したマッチング等が必要と考えますが、市の取組を伺います。

農地等の利用の最適化の推進に関する指針に基づき、農地の出し手と受け手の意向を踏まえたマッチングを行っています

農業者総合支援センター及び東葛飾農業事務所と連携を図

場合もありますが、各部門と連携し、働きやすい職場環境となるように努めます。



高齢者の居場所について

後関俊一 議員

高齢者の地域等での交流のための施策を伺います。

地域包括ケアシステムのひとつとして生活支援体制整備事業に取り組んでいます。中央東地区では、骨密度測定やボッチャ体験、介護サービス

事業所による講話等の健康チェックデーを継続的に実施し南部地区では、地区の歴史等を内容とする出前講座などが行われています。

利用しやすい公共施設づくりとして、利用料の減免を

ふれあいの森について

寺本真理 議員

ふれあいの森の数の変遷と設置の条件を伺います。

最も多い時で10か所あり令和7年9月現在では5か所となっています。設置の条件は、鎌ヶ谷市みどりの条例に基づき「ふれあいの森」として有償で5年間を期限として地権者と土地使用貸借契約を締結します。

東中沢四丁目ふれあいの森の活用を今後どのように考えているのか伺います。

地権者の理解が前提にな

通学路の安全対策について

葛山繁隆 議員

第4次通学路安全対策推進行動計画に基づき実施している交通安全対策を伺います。

ソフト面の取組は、スケアード・ストリート自転車交通安全教室や子ども自転車安全運転講習会、安全指導マニ

誰もが安心して投票できる環境整備について

富田信恵 議員

市民から寄せられた投票に関する意見や要望を伺います。

指定の投票所より近い投票所での投票や郵便投票の適用基準の緩和、期日前投票の待ち時間が長い等があります。

無効投票数の現状と課題を伺います。

令和7年7月の参議院選

実施している自治体がありますが、市の見解を伺います。

高齢者や高齢者団体の使用料を減額する制度はありませんが、高齢者が利用しやすい施設となるために、どのような施策が効果的なのかについて、近隣自治体の状況等を踏まえて調査研究していきま

りますが、令和9年度からの第2次実施計画の中で、用地の取得や公園としての整備について検討していきたいと考えています。



して交通安全の呼びかけや自転車点検の活動をしています。ハード面は、通学路の合同点検や実態調査、PTA要望の結果等を取りまとめ、関係機関と連携してグリーンベルト舗装などの路面標示や注意看板、防護柵の設置、通学路の歩道整備等の対策をしています。

プの設置や車椅子の配置を進めるほか、投票支援カードや記名補助具などの投票支援ツールの導入や代理投票の活用等を検討し、安心して投票できる環境づくりに努めています。

